

2026 年度

旭川医科大学病院

看護師特定行為研修

# 受講者募集要項



旭川医科大学病院

2026 年度  
旭川医科大学病院  
看護師特定行為研修 募集要項

**1. 旭川医科大学病院 看護師特定行為研修の目的・目標**

本研修は、地域医療及び高度急性期医療の場において、医療安全に配慮しながら、特定行為実施に向けた専門的知識及び技術を習得し、地域社会に貢献できる看護師を育成することを目的とする。

研修目標

- 1) 医療の場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行い、特定行為を行う上での知識・技術及び態度を習得する。
- 2) 医療の場において、患者の安全・安楽に配慮し特定行為を実施する能力を養う。
- 3) 医療の場において、チームのキーパーソンとして、提供する適切な医療・看護の検討や問題解決に向け、多職種や地域の医療者と効果的に協働する能力を養う。

**2. 定員**

6名

(外科術後病棟管理領域パッケージコース、周術期麻酔管理領域パッケージコース、区分別選択コース合わせて)

**3. 研修期間**

2026年10月1日～2027年9月30日(1年間)

研修日程(目安)

2026年10月上旬	入講式
2026年10月1日	共通科目受講開始
2027年3月下旬	共通科目修了判定
2027年4月1日	区分別科目受講開始
2027年9月下旬	区分別科目修了判定・修了式

\* 臨地実習の症例数が確保できない、特定行為研修生の体調不良など、やむを得ない事情により期間中に研修が終了できない場合については、病院長が認める期間延長することができる。

**4. 研修場所**

研修は、原則、旭川医科大学病院にて実施するが、臨地実習については、研修終了後も特定行為の実践が有効に行われるために、継続した指導医の指導と安

全に活動する施設基盤が重要だと考え、研修生の勤務施設で行う。

実習施設には、本研修機関の連携協力施設として、連携協力体制（指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制）に関する書類を作成していただき、それを本研修機関より北海道厚生局に提出する。開講式前（2026年9月上旬ごろ）に本研修機関に書類を提出していただくため、実習の受け入れの調整は提出に間に合うよう早めに進めることが必要となる。

なお、臨地実習では、各特定行為5症例を経験するため、指導医の協力が必要となる。指導医は7年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師臨床研修における指導経験を有することが要件となる。

## 5. 研修内容と時間数

研修は、「外科術後病棟管理領域パッケージコース」「周術期麻酔管理領域パッケージコース」と「区分別選択コース」の3つのコースがある。3つのコースとも、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われる。

\*共通科目及び区分別科目において、すでに特定行為研修を履修している場合、履修免除を申請することができる。

### 1) 外科術後病棟管理領域パッケージコース

#### ① 共通科目（必修科目）：

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目  
(研修期間：6か月)

表1 共通科目研修時間数

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合計	167	54	18.75	12.25	252

\*共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習・実習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価とレポート評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格する。

② 区分別科目：

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

(研修期間：6 か月)

表 2 区分別科目研修時間数

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	13.5	2	各 5 症例	1.5	17+ 5 症例× 2
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	各 5 症例	1.5	13+ 5 症例× 2
腹腔ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
創部ドレーン管理関連	5	—	5 症例	1	6+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
栄養及び水分管理に係る	9	1	5 症例	1	11+

薬剤投与関連					5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	11	3	各 5 症例	2	16+ 5 症例× 2

\* 区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習（患者に対する実技）は関連する講義・演習（ペーパーシミュレーション）・手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習（患者に対する実技）の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

## 2) 周術期麻酔管理領域パッケージコース

### ① 共通科目（必修科目）：

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間：6 か月）

内容、時間数は、外科術後病棟管理領域パッケージコースと同様（2 ページ表 1 参照）

### ② 区分別科目

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間：6 か月）

表 3 区分別科目研修時間

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	12.5	3	各 5 症例	1.5	17+ 5 症例× 2
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13+ 5 症例×

					2
栄養及び水分管理に係る 薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与 関連	8.5	2	5 症例	1.5	12+ 5 症例

\*区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習（患者に対する実技）は関連する講義・演習（ペーパーシミュレーション）・手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習（患者に対する実技）の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

### 3) 区分別選択コース

#### ① 共通科目（必修科目）

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目

（研修期間：6 か月）

内容、時間数は、外科術後病棟管理領域パッケージコースと同様（2 ページ表 1 参照）

#### ② 区分別科目（選択科目）

以下の 11 区分から選択する（1～11 区分まで選択可能）

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間：6 か月）

表 4 各区分別科目研修時間数

	特定行為区分	時間数				
		講義	演習	実習	評価	合計
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	—	5 症例	1 (OSCE)	9+ 5 症例
2	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
3	胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	各	1.5	13+

				5 症例		5 症例×2
4	腹腔ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
5	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6	—	5 症例	1	7+ 5 症例
6	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	7	—	5 症例	1 (OSCE)	8+ 5 症例
7	創傷管理関連	31	—	各 5 症例	3 (OSCE)	34+ 5 症例×2
8	創部ドレーン管理関連	5	—	5 症例	1	6+ 5 症例
9	動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各 5 症例	1.5 (OSCE)	13+ 5 症例×2
10	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12.5	2	各 5 症例	1.5	16+ 5 症例×2
11	術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例

\*区分別科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する。演習は関連する e-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。実習（患者に対する実技）は関連する講義・演習（ペーパーシミュレーション）・手技練習（模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習）を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。OSCE のある科目に関しては、実習（患者に対する実技）の前に OSCE に合格する必要がある。その後、修了試験に合格する。

## 6. 受講イメージ

月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
スケジュール	開講式	e-ラーニングで 共通科目受講					区分別科目受講					修了式
	登校日が3回程度あり (1回5~7日)			手技練習・OSCEでは数日登校 日あり。選択区分で日数が異なる					自施設で 臨地実習			

\* 共通科目、区分別科目の一部について履修の免除で受講する場合は、区分別科目受講に合わせて受講する。

## 7. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすこと

- 1) 共通科目をすべて履修し、各科目の修了試験に合格すること
- 2) 共通科目を履修後、区分別科目をすべて履修し、各区分の修了試験、手技練習での観察評価と実技試験に合格すること
- 3) 区分別科目の実習において、該当の区分別特定行為に係る事例を5症例以上経験し、修了評価を得ていること

\* 本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

## 8. 受講資格

- 1) 看護師免許を有すること
- 2) 看護師の免許取得後、通算5年以上の看護実務経験を有すること
- 3) 所属機関の長の推薦を有すること
- 4) 所属機関から特定行為の実践について協力が得られ、かつ、所属機関において勤務体制の柔軟化など、優先して研修を受講することに対する協力が得られていること。また、所属機関での臨地実習を行うことができること
- 5) 看護職賠償責任保険に加入していること

## 9. 出願手続き

【出願期間】 2026年3月2日～6月30日

### 【提出書類】

- 1) 受講申請書
- 2) 既修得科目履修免除申請書
  - \* 共通科目、区分別科目の一部について履修の免除を申請する方のみ提出。
  - \* 特定行為研修修了証の写しまたは修了見込証明書（任意様式）、および履修証明書を添付。
- 3) 履歴書
- 4) 受講志願理由書（レポート）
- 5) 推薦書
- 6) 受講同意書及び臨地実習承諾書（旭川医科大学病院職員は提出不要）
- 7) 看護師免許証の写し
- 8) 認定看護師、専門看護師の資格を有する者は、認定書の写し（有効期限内のものに限る）

※提出書類の返却は対応しない。

※旭川医科大学病院ホームページ「旭川医科大学病院 特定行為研修受講生募集」から必要書類をダウンロードしてください。

ホームページ： <https://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/>

### 【提出先】

〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

旭川医科大学病院 看護部 看護師特定行為研修担当者宛

※封筒に赤字赤枠で特定行為研修受講申請書在中と記載すること

※本院の看護師は直接持参のこと

問合せ窓口：0166-68-2692

## 10. 選考方法

書類審査、面接審査

面接審査（WEB面接）：詳細は別途通知する。

選考結果については、2026年8月上旬（予定）に文書にて出願者に通知する。

電話やFAXでの可否の問い合わせについては対応しない。

## 11. 研修料

項目名	研修料（税込）
共通科目研修料	335,000 円
外科術後病棟管理領域（パッケージ）	570,000 円
周術期麻酔管理領域（パッケージ）	300,000 円
区分別科目研修料	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	73,000 円
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	70,000 円
胸腔ドレーン管理関連	79,000 円
腹腔ドレーン管理関連	43,000 円
栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連	43,000 円
栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	70,000 円
創傷管理関連	143,000 円
創部ドレーン管理関連	41,000 円
動脈血液ガス分析関連	110,000 円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	79,000 円
術後疼痛管理関連	44,000 円

\*区分別科目において、一部の特定行為が履修免除となる場合でも、区分別科目を修得済みではないため、受講料の減額はない。

例 1) 外科術後病棟管理領域コースの場合：共通科目研修料 335,000 円＋外科術

後病棟管理領域 570,000 円の計 905,000 円となる。

例 2) 区分別科目受講の場合：共通科目研修料 335,000 円と各区分別研修料の合計となる。

※研修のための宿泊・交通費、当研修機関以外で使用するパソコン等の機器、通信費、その他自己学習に必要な教材等は、自己負担となります。

## 12. その他

1) 受講手続きの詳細については、受講決定通知時にお知らせします。

### ●個人情報の取り扱いについて

旭川医科大学病院では「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

### 研修に関する問い合わせ

〒078-8510

北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1

TEL 0166-68-2692 FAX 0166-69-3609

E-mail tokutei-staff@asahikawa-med.ac.jp

旭川医科大学病院 看護部 看護師特定行為研修担当者 大宮